

快適で安全・安心・安息な

福祉の町づくりに努めます

防災、防犯対策

消防防災体制の強化を図るため、消防設備の補助事業を実施し、消防団や自主防災組織等と連携し、地域防災力の向上を図ります。住宅用火災警報器の設置および啓発・普及に努め、住宅防火対策を推進します。

地震・風水害等の災害対策については、現在進行中の鬼北地域情報通信基盤整備事業による防災行政放送システムの構築、避難誘導看板の整備、非常食や資機材、生活必需品の備蓄、人命救助の初動に極めて有効といわれているAED（自動体外式除細動器）の整備を進めます。

防犯・交通対策の充実に ついては、警察をはじめ防犯協会や交通安全協会と連携し、各種教室や街頭キャンペーンを実施します。幼児から高齢者までの世代別にきめ細かな安全教育や啓発活動を積極的に実施し、災害や治安に強い安全で快適な町づくりを実現します。

保健・福祉・医療の充実

高齢者福祉については、平成19年度に開設した地域包括支援センターの一層の活用を図り、高齢者の総合相談窓口としての確立を目指します。

また、一人暮らし老人等の緊急事態時における緊急通報システム事業の他、障害者福祉については、障害者自立支援法に基づき制度の円滑な推進を図り、現在の策定している障害者福祉計画に基づき、障害の内容やニーズに応じたサービス提供ができるよう関係機関と連携し、総合的に取り組めます。

児童福祉については、鬼北町次世代育成支援行動計画（前期）を指針として、子ども達が健やかに生まれ育つ環境づくりに取り組めます。

少子化対策の一環として、保護者が仕事などで昼間家庭にいない小学校の児童に対し、安全で健やかな居場

所を確保するため、学校の空き教室などを利用し、地域の方々の参画を得て、子ども達と共に勉強やスポーツ、交流活動などを行う学童保育の導入に向け、検討を進めます。

保健衛生、医療サービスの充実については、町民一人一人の健康実現のため、保健・医療・福祉の各分野が連携し、鬼北町保健センターを拠点に健康増進事業、母子保健事業など町民の健康づくり施策を展開します。国民健康保険事業では、健康指導および生活指導等の訪問指導を実施し、加入者の健康の保持に努めます。

暮らしを支える産業を育て見守り、

町の活性化に努めます

平成20年度からスタートした75歳以上を対象とする後期高齢者医療制度については、広域連合と連携を密にし、健全な運営に努めます。

各診療所については、地域における第1次医療機関として、地域住民に親しまれ、受診しやすい診療所運営に努めます。

町立北宇和病院の運営については、指定管理者である社会福祉法人旭川荘との連携を密にし、特に、高齢者等に対応した医療サービスの向上に意を注ぎ、医師等職員の確保対策も含め、病院の健全経営に努めます。

農業の振興

国の政策に基づき、水田経営所得安定対策として、意欲と能力のある農家の加入を推進し、県並目センターやえひめ南農協などの協力を得ながら、鬼北町担い手育成支援協議会を中心に、新規就農者への支援および認定農業者・集落営農組織

等の育成と充実に努めます。

地域で生産された安全で安心な農産物を広く消費者に提供するため、森の三角ぼうしや日吉産地などの道の駅を中心に生産農家との連携・協調を図りながら地産地消を促進します。

多品目の農産物を生産出荷する農家・生産者グループの育成に努め、鬼北町ら

しい特色ある地域農産物と、これを活用した特産品開発に取り組み、市場競争力の高い農産物の生産振興を図ります。

増大しているイノシシ・シカ・サルなどの野生動物による農産物被害を防ぐため、引き続き猟友会に駆除活動を要請し、防護柵設置などのハード事業に対する助成や農産物の生産を高める環境づくりに努め、意欲を持つて農業に従事できる基盤づくりを推進します。

優良農地の保全管理と地域農業の振興を図るため、鬼北町農業公社と鬼北農業支援センターの連携を強化し、地域農業管理システムの充実と運用に努め、新規就農者の育成事業を推進します。

愛媛県の愛あるブランド産品として認定されているキジについては、販路拡大が最優先であることから、積極的な顧客開拓に努め、生産者部会との連携強化や新商品開発にも力を注ぎ、付加価値の高い鬼北ブランドとして広く認知されるよう地域産物振興のためにも実効性のある事業展開を進めます。